



 岩手県社会福祉士会 IACSW

ニュースレター

～ NO.139 梅雨の速報号 ～



■ Contents 目次 ■

・大船渡山林火災の見舞金・義援金の寄贈	p.2
・会員の輪リレートーク	p.3
・新役員の紹介・抱負	p.4～6
・2025 年度第 1 回 理事会報告	p.7～8
・新事務局員の紹介・抱負	p.9
・新事務局次長の紹介・抱負	p.9
・Information ～事務局から～	p.10～12



【大船渡山林火災の見舞金・義援金の寄贈】

日本社会福祉士会から10万円の見舞金、山梨県社会福祉士会から5万円の義援金

6月8日の定期総会において、先の大船渡山林火災に対して気仙ブロック代表の千田富士夫氏に会長から見舞金・義援金の目録を寄贈しました。

会長から、目録内容を読み上げ、日本社会福祉士会から10万円、山梨県社会福祉士会から5万円、岩手県社会福祉士会から3万円、当会の各ブロックから64,328円、合計244,328円の義援金寄贈となります。

気仙ブロック代表の千田富士夫氏から、「いただいた見舞金・義援金の活用はブロックで検討します。ありがとうございました」と御礼の言葉がありました。

NHK 等でも報道されましたが、今回の山林火災で、体の不自由な高齢者が入所する高齢者施設「さんりくの園」には、山林火災の発生当時、82 人の高齢者が入所していました。

ブロック代表の千田富士夫氏は、施設長で施設のある場所に高齢者等避難や避難指示の情報は出ていませんでしたが、自力で歩けない入所者が多く周辺に煙が迫ってきたことなどからこのままでは避難が間に合わなくなるおそれがあると考え、発生から 5 日目となる 3 月 2 日、自主的に入所者を避難させることを決め、県内の他の施設に自主的に避難させました。

自主避難に要した経費は数百万円に及び法人施設で負担しています。

岩手県では、このような取り組みを受けて施設側にかかった経費の一部を補助する動きとなっています。





会員の輪 ～リレートーク～

「知は力なり」 盛岡ブロック 佐々木 裕美

皆さん、はじめまして。盛岡市社会福祉協議会の佐々木裕美(ささきひろみ)と申します。

私は令和4年度から重層的支援体制整備事業の地域づくり事業を担当していますが、本稿では、属性を問わない居場所づくりを進める中で出会った A さんから学んだことを記したいと思います。拙い文章ですが、暫しお付き合いをお願いします。

A さんは発達障がいのある 30 代後半の男性です。障がいがある人もない人も共にアートに親しむ場を仲間と一緒に運営していましたが、その活動をさらに広げたいと相談があり、関わりが始まりました。A さんは大学等で障がい者やデザインを学んだ経験があり、その延長線上に現在の活動があること、大学院受験を繰り返していることや、過去に就労移行支援事業所に通った際に辛い思いをしたこと、生活費は同居の家族の支援があることなどを語ってくれました。

その後、本会の居場所づくりの取り組みとして、既存の児童福祉施設を利活用し、A さんの要望(障害がある人もない人も共にアートに親しむ場づくり)を内包した属性を問わない居場所を試行してみたところ、思わぬ成果が現れました。児童福祉施設職員の提案により、A さんが描いたイラストが利用児童の塗り絵として提供されることになったのです。

翌日、A さんから電話がありました。

「僕が描いたイラストが、あんなふうに役立つとは思ってもみなかった。嬉しいです。」

居場所で新たな役割を見出した A さんは、児童福祉施設で利用児童にデッサン指導を行う有償ボランティアに挑戦したり、新たな居場所づくりの話し合いに参加したりと主体的に行動するようになり、同時に研究への意欲も高まっているようでした。

ある日の A さんのつぶやきです。

「ここ(居場所)に来るようになって、孤独だなと思うことが無くなったように思うんです。前は孤独を感じて、あーっとなっていたけど、いまはそうじゃなくなった。」

秋が深まった頃、大学院受験に失敗したことを A さんが話してくれました。ほどなくして、実父が亡くなり、その喪失感や仕事や収入のことに向き合わなければならない焦りもあり、周囲との関係性が悪化しましたが、関係機関の支援もあり、春からピアサポーター的なスタッフとして福祉施設に勤務しています。

先日、A さんの実母から初めて電話を頂きました。

「わたしはうちの子(Aさん)が絵が上手と思ったことは一度もないけど、あなたたちが、うまいこと引きだしてくれたのね。色々心配もあるけど、これからもよろしく。」

最近の A さんは、研究への意欲が再び高まっているようです。はたして A さんの原動力は何なのだろうかと考えたとき、「知は力なり」という言葉が浮かびます。これは、尊敬するかつての上司がよく発していた言葉で、学び続ける意欲や行動がその人の生き方に影響を与えることや、そこで得た学びはその人の財産である、と。A さんとの関わりを通して、「知は力なり」の普遍性を垣間見た気がしています。私もまた、学びの日々が続きます。

次は、まさに学びの現場で奮闘されている、盛岡医療福祉スポーツ専門学校の大富和弘先生にバトンタッチします。よろしくお願いします！



新役員の紹介・抱負

6月8日(日)に開催した定期総会にて第19期役員改選があり新役員が決まりました。新しく選任された方々からご挨拶をいただきます。

新副会長 白畑 勇

岩手県社会福祉事業団で障害や児童分野で40年以上勤務を続けており、現在は児童養護施設和光学園に勤務しております。

ばあとなあで運営委員長をしながら、この2年は事務局次長を務めさせていただきました。理事会をはじめ毎月の正副会長会議などに出席し、県士会の守備範囲の広さと県民・関係機関からの期待の大きさ、そして責任をあらためて実感しております。

微力ながら副会長として県士会運営に尽力したいと思います。よろしくお願いいたします。

新監事 藤澤 良志

令和6年3月に岩手県を退職し、現在、岩手県社会福祉事業団の運営に携わっていますが、教育や児童養護、介護、障害者支援等、私達の地域生活の様々な場面で、福祉の専門的な視点からの実践や助言が必要とされていると感じています。

岩手県社会福祉士会は、そうしたニーズに応え、援助を必要とする方々の権利擁護や携わる専門人材の育成等に向けて、研修事業や支援活動に精力的に取り組んでおられます。

今後、監事として、微力ながら、貴会の活動の充実、適切な運営に力を尽くして参ります。どうぞよろしくお願いいたします。

新理事(ユース委員会 委員長) 菅野 咲希

このたびユース委員会の委員長を務めることになりました。

私自身、令和5年にユース委員会へ所属してから、県内で同じ専門職として働く方々と交流できたことが大きな支えになり、自身の成長につながったと感じました。

今後は社会福祉士の魅力を多くの人に伝えとともに、若手同士が学び合い、支え合える場を作っていきたいと考えています。よろしくお願いいたします。



新理事(子ども家庭学校委員会 委員長) 嵯峨 翔

このたび子ども家庭学校委員長を拝命した嵯峨翔と申します。

SSWr の実践力向上と認知拡大、活躍しやすい環境調整のため尽力したいと考えております。

例年に倣い養成研修・スキルアップ研修を開催することで基礎力を底上げし、隔月のNW会議で多様な参加者と意見交換する中でネットワーク構築を促進します。また、ヒアリングや県教委との対話を通じ、実践の可視化と適正評価による待遇改善を目指します。

県士会 ICT チームにも所属しております。お時間のある方はこちらの

QR コードから AI サガ(別人…)をご笑覧ください。

新しい技術も織り交ぜながら、社会福祉士のアップデートに

寄与できればと思います。何卒よろしくお願いいたします。



<AI サガ>

新理事(自治体社会福祉士の会 委員長) 武内 晶

このたび、役員に就任いたしました武内晶と申します。

拙い内容ではありますが、私のこれまでの歩みをご紹介しますことで、就任のご挨拶に代えさせていただきます。

私は岩手県立大学社会福祉学部の3期生です。在学中は「座学だけでは福祉の本質は理解できない」との思いから、障害者福祉施設でのボランティア活動に力を入れてまいりました。現場での体験を通して、福祉実践の基盤には“人と人との関係性”があることを学びました。

卒業後は、知的障害者入所更生施設に入職し、利用者の生活支援や自立支援に取り組みました。その後、障害者地域生活支援センターにてコーディネーターとして相談援助業務を担い、地域の中で暮らす障がいのある方々への支援に携わってまいりました。

さらに八幡平市に入職し、直営の地域包括支援センターにて9年間勤務いたしました。在職中には、東日本大震災が発災し、地域包括支援委員会の事務局として被災地支援にも関わりました。あのときの対応が果たして最善だったのか、今なお自問し続けておりますが、あの経験は自らの福祉観を深める転機でもありました。

現在は八幡平市立病院 地域医療連携室にて医療ソーシャルワーカーとして勤務しております。医療と地域、制度と制度の狭間にいる方々の支援を通して、社会福祉士の専門性とネットワークの重要性を実感しています。

また、本会においては、盛岡ブロック事務局および自治体社会福祉士の会の役を務めさせていただいております。住民ニーズが重層的に絡み合い、多様化する中で、自治体職員に求められる福祉行政とは何か、また、それを担う社会福祉士はいかなるスキルを磨くべきか、日々の業務を振り返りながら模索しております。

そして何より、ソーシャルワーカー自身も充実と幸福に満ち溢れた環境で過ごせることが、持続可能な支援や専門性の発揮につながると確信しています。支援者が安心して働き、学び、成長できる環境づくりにも目を向けていきたいと考えております。

これまでの経験を礎に、現場の声を大切に、福祉職としての専門性と公共性の両立を目指しながら、誠実に職責を果たしてまいります。微力ではございますが、どうぞよろしくお願い申し上げます。



二戸ブロック新代表 小野寺 幸司

～「つながる」を意識した関係づくり～

去る、5月31日に開催された二戸ブロック総会において新代表に選んでいただきました。会員の皆様2年間よろしくお願いいたします。

昨年度は新規会員を7名迎え、設立以来最大の会員数になりました。

ブロック活動を通じて、顔が見える関係性を築きそのことにより、会員個々の本業へ好影響があるように「つながる」に意識を置き活動を進めて参りたいと思います。

中部ブロック新代表 田鎖 健

社会福祉士会の活動に参加したきっかけは、職場の上司がブロックの事務局や会計を担っていて、在宅障がい者と家族の支援として「ふれあい登山に参加してみないか」と誘ってくれたことでした。あれから20年…ふれあい登山の参加者も私自身も歳を重ね、どのような開催が良いのか、今の時代に合わせた活動は何か、皆で考え、取り組んでいきたいと思っています。

胆江ブロック新代表 小野 大祐

胆江ブロックの代表となりました小野大祐と申します。現在は、奥州市役所の福祉部地域共生社会課に勤務しております。私が入会したのは、平成18年の市町村合併の折に「仕事のエリアが広がるから、会に入って色んな人と知り合っておくと良いよ」と、先輩から誘われたことがきっかけです。その言葉どおり、会での多くの方々との出会いが支えとなって今の自分があるのだと感じています。会員同士がつながり、それぞれの実践での支えになれるよう、ブロックの活動を盛り上げていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

両磐ブロック新代表 岩渕 城光

「新役員の就任にあたり、私の抱負」

この度、両磐ブロックを代表して県理事に就任させていただきました。ブロックの代表になるのも、県理事になるのも初めてのことで、皆様のご協力をいただきながら頑張りたいと思います。この与えられた機会を、会員の皆様、とくに両磐の皆様と楽しく過ごすことが何よりの目標です。入会の目的はそれぞれと思いますが、せっかく社会福祉士会に入って知り合うことができたのですから、まずは飲みましょう(お誘い歓迎)。



「2025 年度 第 1 回 理事会 報告」

【日 時】2025 年 4 月 19 日(土)13:00~15:30

【会 場】SETビル 302 号・Web 開催

【出席者】出席数 23 名(理事 23)欠席2(理事2、監事1)(理事2名代理出席)

【報告事項】

- (1) 日本社会福祉士会臨時総会報告
(日本社士会事務局員の就業状況に係る公益通報、災害対策基本法の改正)
- (2) ぱあとなあ業務監査報告:インシデントレポート 2 件、報酬助成 8 件、盛岡市の報酬助成の要件緩和により、受任負担金の使途の検討が必要。今年度から法人後見を開始することを報告。
- (3) 実践研究委員会:7/12(土)三団体合同研修会をアイーナで開催。社会的孤立がテーマ。
- (4) 2025/2026 役員改選立候補届状況選管委員長上田氏:本日午前中、全県 16 名、ブロック理事 9 名の立候補を受付けた。
- (5) 岩手日報の「くらし欄」への寄稿について:県民への意識啓発の一環として、10 月以降、ケアマネ協会と交代で記事の掲載を行いたい。
掲載内容等について、ブロックや委員会から提案があれば意見をいただきたい。

【協議事項】

- (1) 大船渡山林火災の対応について:①日本社会福祉士会からの見舞金②中部・胆江・久慈ブロック義援金③県士会からの義援金を一括して、気仙ブロックへ送金することとしたい。
【気仙ブロック千田理事】会員の被災はないことを確認した。ブロックへの義援金は、被災者支援に役立てていただくよう大船渡市への寄付とすることを検討したい。
- (2) 2025 年度定時総会の開催案内について:6 月 8 日(日)開催。終了後、介護福祉士会と合同の研修&懇親会を予定。ブロックから WEBCAS 活用のサポートをお願いしたい。送付データに誤りがないか確認する。
- (3) 2025 年度定時総会の議長の選出について:今後はブロック輪番で議長を選出したい。2025 年度は沿岸ブロックからの選出を依頼したい。
- (4) 就業規程(案)について:社会保険労務士から提案された就業規程は、一旦労働基準監督署へ提出し、必要があれば 7 月理事会で改正したい。→就業規程(案)について承認された。

次ページへ続く



(協議事項の続き)

(5) SETビル「302号」の環境整備と使用設定について:①鍵の管理 ②利用優先順位
③備品の整備 ④使用環境の整備(給湯等) ⑤その他

・ブロックや委員会等の302号室使用に関しては、当面は事務局でTEL予約受付
(先着順)。

・スーパービジョンの予約、たまごの会の活動等は県士会の活動の延長であれば使用可能。

・会員以外の活動については、空いていれば使用可能としたい。

→次の理事会までにルール等について検討する。

【議決(承認)事項】

(1) 規程第17号 権利擁護センターぱあとなあ岩手「法人後見事業に関する規程」の制定について

(2) 要綱第3号 権利擁護センターぱあとなあ岩手「運営委員会の運営要綱」の改正案について
→(1)及び(2)について、P17~22のとおり異議なく承認された。

※具体的な運用については別途細則を定めることとする。

(3) 2025年度事業報告と決算について

・決算について坂口会長より説明。今年度から新たに事務局員の手当を管理費から支出。

・監査報告について、阿部鮎美監事から適正に執行されていることを確認した。

→2024年度事業報告及び決算報告について、理事の承認を得た。

(4) 2025年度ブロック活動費の交付について→P23のとおり異議なく承認された。

(5) 2025/2029監事に以下の候補者を提案

・藤澤 良志 氏(フジサワ ヨシユキ) ・阿部 鮎美 氏(アベ アユミ)

→藤澤氏、阿部氏を監事候補者として選出することについて、異議なく承認された。

(6) 会員の入会退会の承認について(熊谷)

→入会者(~4/9)12名、転出者3名、退会者27名について承認された。

【その他】

・各ブロックで災害、倫理綱領等をテーマに研修を開催する場合には、相談があれば県士会から派遣が可能。検討いただきたい。

・7/12(土)は午後がSW三団体合同研修のため、理事会は午前中開催となる見通し。

【閉会】





新事務局員の紹介・抱負

新事務局員 中村 美穂

岩手県社会福祉士会事務局の中村美穂と申します。

4月1日から事務局で勤務しております。これまでは約10年間、販売職としてイオンで働いて参りました。伊藤さんをはじめ、坂口会長や熊谷事務局長にもご指導いただきながら業務に励んでおりますが、まだまだわからないことばかりで、毎日新しいことを覚えるのに奮闘しております。不束者ですが、事務局員として会の皆様の活動を円滑にサポートできるよう尽力して参ります。よろしくお願いいたします。

新事務局次長 野村 明生

この度、事務局次長を務めることになりました盛岡ブロックの野村明生と申します。この場をお借りしまして、私の日々と抱負を述べさせていただきます。

まず、職場は盛岡の舘坂橋交差点そばの前九年にあります「自立支援型デイサービス レッツ倶楽部盛岡」でフロアリーダー兼営業担当として、送迎から相談業務、機能訓練などのさまざまな業務に携わっております。ソーシャルワーカーは時折、「何でも屋」と言われることがあります。私としてはそれもありかもしれないと感じてきました。社会福祉士会で基礎研修やSV、研修会や飲み会(笑)を通して学んだソーシャルワークは、日々のさまざまな業務にも活かせることが多くあると感じています。今後も「未来と自分を変えられる」をモットーに自分なりのジェネラリストソーシャルワーカーを目指して日々精進していきたいと思っております。

次に、事務局次長としての抱負は3つあります。

- ①岩手県社会福祉士会の組織運営について学ぶ。
- ②岩手県社会福祉士会の活動や魅力をより多く会員はじめ非会員へ発信する。
- ③岩手県精神保健福祉士会、岩手県医療ソーシャルワーカー協会などの各関係機関との関係性をより一層深めるために率先して行動する。

最後に、事務局業務については、私の力不足なことも多々出てくると思っております。しかしながら、坂口会長や熊谷事務局長をはじめとする皆様のお力をお借りして、より良い組織作りができるように、誠心誠意取り組んで参ります。宜しくお願いいたします。



Information ～事務局から～

◆ 研修等のお知らせ ◆

【岩手県社会福祉士会】

『新会員オリエンテーション・懇親会』

新入会会員の皆様に会の運営を理解いただき、入会の特典と会員としての諸手続きについてオリエンテーションを行う機会としました。併せて、会員の横のつながりを図ることをねらい、情報交換と懇親会を企画いたしました。

開催日時： 7/19(土) 14:00～16:45 / 17:00～懇親会もあります☆

開催場所： オリエンテーション会場 マリオス 182 会議室(18 階)

対象者： 今年度入会会員に限らず、入会后概ね 3 年程度の会員

参加費： オリエンテーション：無料 / 懇親会：4,500 円(込)

※詳細、お申込みについては別紙参照

【盛岡ブロック定例研修会】

『外国人への対応 ～在住外国人の背景とコミュニケーション～』

講師の方を囲み、外国にルーツを持つ方の福祉的課題や解決に向けての取組み、連携の在り方、各所の役割などについて情報共有、意見交換を行います。多数のご参加をお待ちしております。

開催日時： 8/30(土) 14:00～15:00

開催場所： いわて県民情報交流センター(アイーナ) 802 号室

定員： 先着 25 名

参加費： 無料

※詳細、お申込みについては別紙参照



◆ 「情報のメール配信化」に向けた「WEBCAS」登録のお願い ◆

先日の定期総会資料送付時に、同封いたしました「WEBCAS」登録についてのお願いです。

当会としては情報提供の一環として、「WEBCAS」を基本に考えています。まだ登録設定をされていない会員は、当会 HP の「会員マイページ」からご登録をお願いいたします。「WEBCAS」のアドレスなどの設定変更は、御自身で行うことを基本としています。

HP のパスワードやご不明な点等については、事務局までお問い合わせください。

◆ 会員(匿名希望)から寄付を受け付けました ◆

6月28日、匿名を希望する盛岡ブロックの会員から3万円の寄付をいただきました。

ありがとうございます。会の運営に有効に使わせていただきます。

◆ 今後の活動予定 ◆ (2025 年 6 月 30 日現在)

【7 月】

7 月 5 日(土)	ぱあとなあ人材育成研修 1 回目	アイーナ
//	基礎研修Ⅲ 2 回目	
7 月 5 日～6 日(土・日)	社会福祉士会全国大会・社会福祉士学会	島根県松江市
7 月 8 日(火)	正副会長会議	中野事務所
7 月 12 日 (土) AM	第 2 回 理事会	アイーナ会議室 804A
// PM	ソーシャルワーク三団体合同研修会	アイーナ会議室 804A
7 月 19 日 (日)	新会員オリエンテーション・懇親会	マリオス・Web開催
7 月 26 日 (土)	SSW ネットワーク会議	中野事務所・Web開催
//	基礎研修Ⅰ 1 回目	
//	基礎研修Ⅱ 2 回目	

【8 月】

8 月 2 日(土)	東北・北海道ブロック協議会	福島県郡山市
//	基礎研修Ⅲ 3 回目	
8 月 9 日(土)	ぱあとなあ人材育成研修 2 回目	岩手保健医療大学
8 月 16 日(土)	基礎研修Ⅱ 2 回目	
8 月 23 日(土)	SSW スキルアップ研修	

次ページへ続く



8月23日(土)PM	ぱあとなあスキルアップ研修	都南公民館
8月23日(土)PM	自治体社会福祉士の会	マリオス 183・184
8月30日(土)	盛岡ブロック定例研修会	アイーナ 802
8月31日(日)	東北・北海道会長会議	

【9月】

9月6日(土)	基礎研修Ⅲ 4回目 都道府県会長会議	
//	ぱあとなあ人材育成研修 3回目 ↓	アイーナ
9月13日(土)	基礎研修Ⅱ 4回目	
9月27日～28日(土・日)	実習指導者講習会	岩手県立大学
9月28日(日)	自殺予防ソーシャルワーク研修	未定
9月28日～29日(日・月)	日本生涯研修委員会	

※最新情報は、HP または配信されるメール等をご確認ください。

「メのぺっこな編集後記」

今回、初めてニュースレターの編集を担当させていただきました。

レイアウト刷新を行うことで、会員の皆様に岩手県社会福祉士会の活動をより見やすく、分かりやすく、お届けすることを心がけました。私自身、とても良い経験になりました。

今後もブロック活動や研修等の報告・宣伝など、写真や資料なども添えて情報提供をいただけると幸いです。ご意見、ご助言等もお待ちしております☆

梅雨明けが待ち遠しい時期ですが、皆様、くれぐれもご自愛ください。

by 編集担当 野村明生

<編集担当> 一般社団法人岩手県社会福祉士会 事務局

〒020-0816 岩手県盛岡市中野二丁目 16-1SET ビル 3 階 A

TEL: 019-613-5505 FAX: 019-613-5506

e-mail アドレス: info@iwate-csw.or.jp

